

編集委員会から

●「年報第一二集」原稿募集について

年報第一二集の原稿を左記要領により募集します。応募される方は、大会当日までに編集委員会（柿崎）に、所定の手続きに従って申込んで下さい。

申込方法

- (1) 氏名・表題（但、仮題でも可）
- (2) 論文の内容を要約した「要旨」（原稿紙に記載すること）

なお、執筆要領等に関する詳細は、後日応募された方に通知しますが、原稿枚数は八〇枚（四〇〇字）、原稿ノ切は、明年四月二〇日です。

（追記）年報の原稿には、委員会から依頼する「委頼原稿」と、会員から自由に応募される「応募原稿」があります。いずれも未発表の論文に限られます。後者の応募原稿については、委員会で内容を検討し、採択の可否を決定するという、これまで通りの手続きを行うことを念のために申しそえておきます。すぐれたモノグラフを寄稿されることを期待しています。

●「調査研究叢書第四輯」および「年報第一集」の刊行について

既にお知らせの通り、年報の刊行は、今回より稿書房から御茶の水書房にひきつがれることになりました。研究叢書の第四輯は、菅野正・田原音和・細谷昂会員の共著を予定し原稿を預かっていましたが、出版等の事情で遅延してしまいましたところ、年報同様に御茶の水書房のご尽力により、去る九月五日に刊行することができました。刊行に際しては、前回（一ノ三輯）同様に福武直会員より出版費の助成をいただきました。出版の困難な情勢の中でこうした調査研究叢書の刊行されたことは、村落社会研究にとってきわめて意義深いことと思えます。著者のご努力に敬意を表すると共に、刊行に格別

のご援助を下さいました福武会員、御茶の水書房に感謝します。

村落社会調査研究叢書 第四輯

菅野正・田原音和・細谷昂共著

「稲作農業の展開と村落構造―山形県西田川郡旧京田村林崎の事例―」

A5判函入上製・三、五〇〇円

（会員定価二、八〇〇円・送料二〇〇円）

つぎに「年報」は稿書房版の第一〇集をひきついで「第一集」として御茶の水書房から刊行すべく目下最後の追いこみに入っているところです。大会当日に会場でお渡しできる予定です。総頁数は約三四〇頁、定価四、〇〇〇円（会員定価は未定）です。本来ならば少なくとも大会一か月以前に刊行すべきところですが、原稿到着が大幅に遅延したことが最大の原因です。編集委員会の原稿蒐集作業の不手際をお詫び申し上げますと、次回から原稿をお寄せ下さる会員の方々には、原稿ノ切期日を厳守下さるようお願いいたします。